

敬老祝賀式典で 金婚夫婦207組を表彰

9月5日、「みらい」文化ホールで敬老祝賀式典が開催されました。

この式典では、在宅高齢者の介護などで高齢者福祉に功績のあった敬老模範家庭と三夫婦世帯、さらには今年度結婚50年を迎える金婚夫婦を表彰するものです。金婚夫婦207組を代表して、工藤市長から表彰状と記念品の贈呈を受けた高山昇二郎さん・景子さんは「栄えある表彰を賜り光栄です。お世話になった方にお礼を申し上げます」と話し、喜びの表情を浮かべていました。なお、敬老模範家庭と三夫婦世帯については「市報ぎょうだ」11月号で紹介します。



平和への祈りを込めて

多くの尊い命が犠牲となった戦争から70年目の節目を迎えた今年、平和の大切さ、尊さを改めて感じてもらうと8月25日にコミュニティセンターみずしろで「平和」をテーマにしたイベントが行われました。

この日、始めに行われたのが市内在住のアート書道家である美蓮さんによる平和をテーマにした書道パフォーマンス。三味線の生演奏に合わせ、2メートル×4メートルの大きな和紙に「今を感謝 平和 PEACE 愛 LOVE 祈」と書き、美蓮さん自身の平和に対する思いをアート書で表現しました。終了後は、「アート書入門講座」も開催され、美蓮さんのパフォーマンスを見た多くの受講者でにぎわっていました。また、講座終了後には、被爆体験者講演会も行われました。講師は、広島市生まれで被爆を体験した埼玉県原爆被害者協議会事務局長の原明範さん。自身の被爆体験談を語り、戦争の悲惨さや恐ろしさを熱心に伝えていました。



図書館の仕事に挑戦!

8月18日・19日に図書館で夏休み体験イベント「子ども司書チャレンジ～やってみよう、図書館の仕事」が行われました。

このイベントに小学5・6年生の4人が参加。カウンターでの貸し出しや返却の受け付け、書架整理、館内展示の本の選定を行い図書館での仕事を体験しました。また、19日には幼児向けの読み聞かせをに挑戦し、ぬいぐるみを使った演出や折り紙で作ったお土産をプレゼントするなど工夫を凝らしながら、来場者を楽しませていました。



家内安全と厄除けを願って

8月22日に治子神社、興徳寺に下中条の獅子舞が奉納されました。

下中条の獅子舞は、江戸時代から下中条地区に伝わり、県の指定民俗文化財になっています。この日演じたのは「棒術」「弓」など5演目。笛と太鼓の音に合わせ、3匹の獅子が息の合った舞を披露し、観客を魅了していました。



開校130周年を記念した 地域かるたを作成

星宮小学校で作成している「星宮かるた」の制作作業が9月12日に行われました。

「星宮かるた」とは、平成28年3月に開校130周年を迎える同校と、開校60周年を迎える熊谷市立星宮小学校が連携して作成している地域の事柄や場所を取り入れたオリジナルかるたです。今年の春休みに同校の児童が詠んだ句の中から、地元住民を中心とした星宮かるた制作実行委員会が読み札として23句を選定。この日は、児童が描いた絵札の最終仕上げを6年生が行いました。「星宮かるた」は来年3月に行われる開校130周年記念式典でお披露目の後、学区域に全戸配布される予定です。



懐かしの昔遊びを体験

9月8日に南河原小学校で、昔の遊び体験が行われました。

この体験は毎月2回、小学1・2年生を対象に昼休みを使って実施されています。この日も、遊びを教える南河原昔の子ども遊びを保存する会の方の指導で、こまやだるま落とし、手作りの魚釣りなどさまざまな遊びに挑戦しました。普段と違った遊びに、子供たちは夢中になっているようでした。



消防団員による熱い戦い

9月13日、消防署で第43回行田市消防団操法大会が開催されました。

この大会は、消火活動における基本動作をいかに正確かつ迅速に行うかを競うもの。各分団を代表して小型ポンプの部、自動車ポンプの部に出場した選手は、真夏に行ってきた練習の成果を思う存分発揮していました。なお、小型ポンプの部では、団本部第2警備隊が優勝。また自動車ポンプの部では、北部第8分団が16連覇の偉業を達成しました。